

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

当校 HP にも掲載中!

<https://nagaokarou.nein.ed.jp/>

新潟県立長岡聾学校 通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町 2-1-13

Tel 0258-38-0210 (通級指導教室)

*18:00 頃までをお願いいたします。メールもご利用ください。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

発行: 令和7年12月 令和7年度 第8号

*来校の場合は0258-33-3173でナビ検索をお願いします。

長岡聾学校「耳やきこえに関する理解研修会」

上越教育大学 坂口 嘉菜 先生のご講演より



先日、当校主催で「耳やきこえに関する理解研修会」を実施いたしました。ご参加くださった方々、ありがとうございます。聴覚障害教育がご専門の、上越教育大学 坂口 嘉菜 先生にお願いし、オンラインで行いました。希望した方には後日 YouTube 配信を行います。その方々へは先に内容をお知らせする形になりますが、ご講演内容の一部をご紹介します。掲載について、坂口嘉菜先生にご了解をいただきました。



坂口 嘉菜 先生ご講演 概要

◎聴覚障害の基本的な知識 → 音を聞くしくみ(外耳と中耳の障害→伝音性難聴、内耳の障害→感音性難聴)

◎補聴器と人工内耳等について

- ・補聴器の仕組みと管理、人工内耳の手術数の変化や手術の条件について。
- ・補聴器や人工内耳は聞こえを助けるが、きこえやすい話し方の工夫を。

◎小学生以降の課題について

- ・補聴器や人工内耳の効果もあってか、きこえにくさを自覚しにくくなった。
- ・困る前に(困る想定で)支援を!→人間関係、言葉の理解、きこえにくさの言語化など。

◎言語理解の観点から

- ・学習に視覚的な提示を行うが、視覚だけでは分からない物もある。→概念(~は何?)として定義できるように。
- ・経験を因果関係にして1つのストーリーにする力→ナラティブ→言語能力や学業成績との相関が高いようだ。

◎自己理解の観点から

- ・自分のきこえや困っていることを話せるようにする。小さい頃から、自分の状態を伝える経験を積み重ねる。
- ・合理的配慮の面からセルフ・アドボカシーについて語られることがあるが、伝えるだけでなく、話し合うことが大切。

ご講演の中では「きこえにくさを可視化した」文字を見せていただきました。「イメージがしやすい!」という感想がありました。

今回は YouTube 配信の希望を含めると 200 名近い方の視聴となりました。ご参加ありがとうございます。参加された方からは「聴覚障害の支援について学び、理解が深まった」などの貴重なご意見をいただきました。

聴覚障害のある人は千人に1~2人とされていて、多くはありませんが、最近は新規ケースの相談があったり、調べたらきこえにくさがある児童生徒がある程度発見された学校や自治体があったり、聴力は正常だがきこえにくさがある「LiD/APD」のある人がいることなど、きこえにくさに対する支援については、多くの方々に知ってほしいところです。そして、きこえにくさのある児童生徒への支援を行うと、他の児童生徒も助かることがあります。

なお、個別のケースにつきましては当校へご相談をお願いいたします。

家の仕事と「きこえ」について

12月と言えば大掃除など、家の仕事が多い時期と言えます。児童生徒の皆さんも、掃除や整理整頓、料理など家の仕事を担当することがあります。家の仕事の中には音を使うものもあり、個人差もありますがきこえにくい人が行う場合は、工夫が必要になることもあります。ききとりにくい例として次のような場合が考えられます。

◇家電の音

洗濯機や炊飯器、給湯器などで終了や、正常に動いていないことなどを知らせる音が聴力によってはききとりにくいことがある。

◇それぞれの家の仕事の内容で、音を手がかりとするもの

沸騰、調理中(煮える、揚がる音など)

掃除機などの機械音(いつもと違う音など)



これらへの対応として、次の点が考えられます。

☆タイマーや時計などで、いつ頃終了しそうか、事前に確認しておく。

☆家族にあらかじめ「今、洗濯しているけど、終わりの音がしたら教えて」などと、教えてもらうように伝えておき、音がした頃が分かるようにする。

☆目で見える物(表示、現物など)を手がかりにする。

☆補聴器を装用する(通級生徒の中には、家で補聴器を外している場合があります)。

通級に来ている生徒に聞くと、料理や掃除、洗濯など、家の仕事を担当している生徒もいます。

どの児童生徒にも言えることですが、いずれは、進学や就職などで一人暮らしをする、家庭をもつなどして、身の回りのことや家の仕事を自分で行う可能性があります。近くに助けてくれる大人がいるときに、少しずつ体験しておく、必要な時にスムーズにできて、ストレスが少ないと考えられます。きこえにくさのある児童生徒にとって、「家の仕事の中で、どんな時にどうきこえるか」を確認しておくことは、大切だと思われます。

新中一用通級説明会を行いました！



11月20日(木)、きこえにくさのある小6児童と保護者の方を対象に、「長岡聾学校通級指導教室説明会」を行いました。トークゲームで和やかに談笑した後、長岡聾学校通級指導教室で学ぶことや、中学校でのきこえにかかわること、自分のきこえの説明などについてお伝えしました。参加した方からは「中学校での過ごし方にイメージがもてた」「様子が分かって安心した」などの感想がありました。

きこえについて、相談がありましたらご連絡をお願いいたします。

通級生徒在籍校の先生方へ 今年度の在籍校訪問を全て終了いたしました。ご多用の中、お時間をいただき、本当にありがとうございました。また、日頃のご指導、ご配慮をありがとうございます。今後とも連携をよろしくお願いいたします。ご不明なこと、気になることがありましたら、ご連絡をお願いいたします。

この通信をご覧になっている皆様へ いつもお読みいただきありがとうございます。きこえで気になることがありましたら、当校へご連絡をお願いいたします。今年度は「小6、中3、高3の相談(進学前にどうすれば良いか)」、「LiD/APD(疑いを含む)の相談」、「片耳難聴の相談」がありました。難聴は発見が難しく、聴力が低下していても本人や周囲も気づきにくいことがあります。学習やコミュニケーションの困難を生じ、思った以上に聴き取れていないこともあります。高校入試で配慮を受けたい場合は、専門の耳鼻科医による診断書(年内にはもらえるように)や学校での日常の授業や定期テストの支援が必要となります。困った状態をそのままにせず、安心して過ごせるように、当校へご相談ください。

良いお年を過ご
お迎え下さい